

(様式1)

# 平成23年度 第4次総合計画進捗状況表

## 1 政策一施策

都市像	04 子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市			
政策	04 文化の継承と発展			
施策	02 伝統文化の保存と継承を図る			
めざす内容	体験機会などを通して、市民が郷土の歴史と文化への理解を深め、愛着と誇りを持つとともに、文化財や文化遺産が保存され、伝統芸能などの伝統文化が次代に継承され発展していくことをめざします。			
<b>施策の取り組みの柱と方針</b>				
<p>1 文化財の保護 ○文化財の調査、保存、整備、公開、普及、継承を推進します。</p> <p>2 文化遺産の保存・公開、学術研究への展開 ○文化施設の整備充実につとめるとともに、尚家継承文化遺産などの保存・整理・公開を図ります。</p> <p>3 伝統文化の継承・発展 ○伝統文化に触れる機会と伝統文化の情報発信の充実につとめるとともに、伝統文化を継承する人材の育成を図ります。</p> <p>4 歴史を活かしたまちづくり ○史跡めぐりなどの歴史学習の機会を充実させ、地域の文化財への理解を深め、歴史的遺産を活用したまちづくりを促進します。</p> <p>5 教育機会、市民の学習・研究・自己啓発活動の支援 ○生涯学習、研究機会の充実を図るとともに、文化芸術情報の収集と発信につとめます。 ○市内小中学校による歴史博物館、壺屋焼物博物館、伝統工芸館などの授業への活用を支援し、郷土の文化への理解と誇りの涵養をすすめます。</p>				
施策担当課	所 属 (部・課)			
	主管課	博物館	関連課	文化財課 商工農水課

## 2 成果指標の実績とめざそう値

指標名及び指標番号	単位	現状値	2010	2012	2017	指標の意図・説明
			H22年	H24年	H29年	
69 主要文化施設入場者数 (壺屋焼物博物館、伝統工芸館、歴史博物館、玉陵、識名園)	千人	213 (2006)	176	256	256	施設の利用者数から、伝統文化への関心度をみよとする指標です。 ハード・ソフト両面の一層の充実を図り、利用者の2割増をめざします。
		取得方法または出典など	課による独自調査。			
H22年度実績に対するコメント または指標値の把握が困難な場合はその理由	商工農水課＝伝統工芸館(入館者・体験工房者数) 平成22年度1月現在 8,626人 博物館＝長期的課題／平成19年の県立博物館・美術館開館による競合。短期的課題／インターハイ開催による博物館利用者の減少、本庁移転による集客力減 文化財課＝平成22年4月より識名園・玉陵組監料の改定増により、利用人数が					

## 3 今後の展開方針

<p>商工農水課＝不況の為に伝統工芸の売上げは著しく悪いが、指定管理者との協力を図りながら集客アップを考えていきたい。(那覇市伝統工芸館)</p> <p>博物館＝魅力ある企画展の実施、観光協会と観覧料収納事務委託のほか、ガイド等協会各事業と博物館の連携強化、広報活動として近隣ホテルへのパンフレット配付、市内小中学校へのPR、メディアへの取材依頼、ホームページ充実、各企業・団体との割引制度を増やす。</p> <p>文化財課＝案内親方・識名里主のボランティアガイドの育成と活用を図る。識名園・玉陵のホームページの充実を目指す。識名園・玉陵の整備・管理運営の充実。世界遺産のさらなる価値の周知化</p>
--